

令和2年度に係る業務の実績に関する評価結果
国立大学法人福岡教育大学

1 全体評価

福岡教育大学は、有為な教育者の養成を目的に掲げている。ミッションの再定義において、実践型教員養成機能への質的転換を図り、我が国の学校教員の質の向上に貢献することを宣言し、第3期中期目標期間においては、国民及び地域社会からの一層の期待に応えるため、義務教育諸学校に関する教員養成機能における広域の拠点的作用を目指すことを基本的な目標としている。

この目標の達成に向け、学長のリーダーシップの下、附属福岡小学校において「オンライン朝の会」を実施し、その様子を、5月には福岡県をはじめとした全国の教育関係者に公開するとともに、相談会を実施することでICT活用のノウハウを迅速に伝えるなど、「法人の基本的な目標」に沿って計画的に取り組んでいることが認められる。

（「戦略性が高く意欲的な目標・計画」の取組状況について）

第3期中期目標期間における「戦略性が高く意欲的な目標・計画」について、令和2年度は主に以下の取組を実施し、法人の機能強化に向けて積極的に取り組んでいる。

- 教職大学院において、令和3年度から教育課程に新たに教科領域（国語科、数学科（算数科）、社会科、理科、英語科、保健体育科）を加え、従来の3コースから2コース8プログラムとするため、それに伴う学生募集、シラバス・時間割の作成とともに、学内関係規程の整備を行っている。また、教職大学院の実践即応型の教員養成高度化のプログラム（3年プログラム）＝小学校教員免許状取得プログラム（以下「3年プログラム」）において、従来3年次生で実施していた学校での実習を試行的に2年次生後期で実施したほか、修了生（1・2期生）へのアンケート調査やヒアリングを実施して検証を行い、検証結果を令和3年度から開設する3年プログラムのカリキュラム、履修方法に反映し、改善している。（ユニット「教員組織改革及び実践型教員養成機能への質的転換による教員就職率の向上」に関する取組）

2 項目別評価

<評価結果の概況>

| | 特 筆 | 一定の 注目事項 | 順 調 | おおむね 順調 | 遅れ | 重大な 改善事項 |
|-------------------|-----|-------------|-----|------------|----|-------------|
| (1) 業務運営の改善及び効率化 | | | ○ | | | |
| (2) 財務内容の改善 | | | ○ | | | |
| (3) 自己点検・評価及び情報提供 | | | ○ | | | |
| (4) その他業務運営 | | | ○ | | | |

I. 業務運営・財務内容等の状況

(1) 業務運営の改善及び効率化に関する目標

①組織運営の改善 ②教育研究組織の見直し ③事務等の効率化・合理化

【評定】 中期計画の達成に向けて順調に進んでいる

(理由) 年度計画の記載5事項全てが「年度計画を十分に実施している」と認められること等を総合的に勘案したことによる。

(2) 財務内容の改善に関する目標

①外部研究資金、寄附金その他の自己収入の増加 ②経費の抑制 ③資産の運用管理の改善

【評定】 中期計画の達成に向けて順調に進んでいる

(理由) 年度計画の記載3事項全てが「年度計画を十分に実施している」と認められること等を総合的に勘案したことによる。

(3) 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標

①評価の充実 ②情報公開や情報発信等の推進

【評定】 中期計画の達成に向けて順調に進んでいる

(理由) 年度計画の記載2事項全てが「年度計画を上回って実施している」又は「年度計画を十分に実施している」と認められること等を総合的に勘案したことによる。

(4) その他業務運営に関する重要目標

①施設設備の整備・活用等 ②安全管理 ③法令遵守

【評定】 中期計画の達成に向けて順調に進んでいる

(理由) 年度計画の記載2事項全てが「年度計画を十分に実施している」と認められること等を総合的に勘案したことによる。

Ⅱ. 教育研究等の質の向上の状況

令和2年度の実績のうち、下記の事項について注目される。

○ オンライン朝の会や相談会の実施による地域との連携

福岡県に最初の新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が出された令和2年4月には、附属福岡小学校において「オンライン朝の会」を実施し、その様子を、5月には福岡県をはじめとした全国の教育関係者に公開するとともに、相談会を実施することでICT活用のノウハウを迅速に伝えることができている。